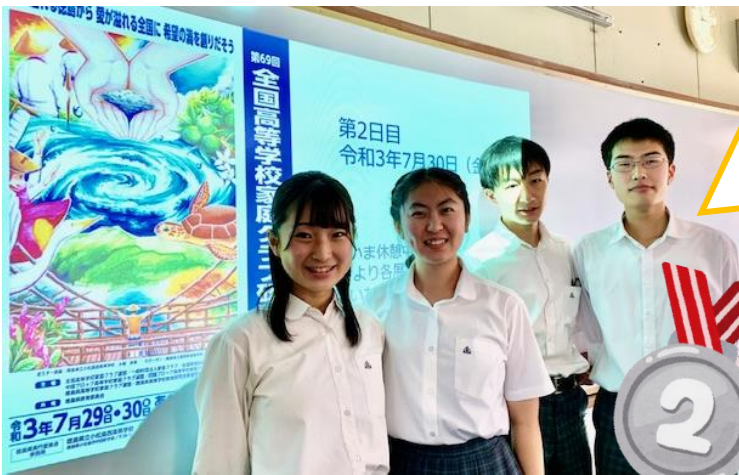




## 祝!! 全国高等学校家庭クラブ研究発表大会徳島大会 産業教育振興中央会賞、クラブ員奨励賞 受賞

令和3年7月29日(木)、30日(金)に、第69回全国高等学校家庭クラブ研究発表大会徳島大会が開催され、各ブロック代表7校(北海道、東北、関東、北陸・中部、近畿、中国・四国、九州)による研究発表が行われました。本校家庭クラブは、北陸・中部ブロック代表校として「Think Globally Act Locally ~ 米粉で守る! 人・食・環境 ~」のテーマで水田保護を目的とした米粉の認知・普及に関するSDGs実践活動を発表し、**産業教育振興中央会賞、クラブ員奨励賞**に選ばれました。産業教育振興中央会賞は、家庭クラブ活動の奨励のために設置された全国第2位相当となる賞、クラブ員奨励賞は、各都道府県役員校のクラブ員生徒の投票による賞です。Web開催のため、事前収録のプレゼンテーション動画による各校の研究発表や審査結果の視聴、交流活動に参加しました。



取り組んできた活動への思いを発表スライドにのせて多くの人に伝えられたんだと思うととても嬉しいです。結果発表を聞いた瞬間は、とても感動しました。多くの方々の支えがあって受賞できたのだと思います。後輩には、この研究活動を今以上に良いものにしていって欲しいです。応援しています。

発表者の会長 奥村允智さん(右)と研究チーム(左から)岡田静音さん、田口夢夏さん、河合勇希さん  
2年間の研究活動、お疲れさまでした!!おめでとう!!

【講評】文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官

山村 季代 氏より

米の利用促進活動を通して、環境問題や食に求められる価値観の多様化への理解、国際交流へと活動が広がっていく様子がよく分かりました。他校や大学、地域関係団体との連携、海外の高校生との交流、米の消費拡大に向けて積極的な啓発活動を行っていました。専門機関との連携や普及活動の進め方は大変すばらしく他の学校も参考にしてほしいです。

